

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	0
施設名	にこ森保育園
施設所在地	青梅市新町4-14-16
法人名	株式会社モアスマイルプロジェクト

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然（空）

<テーマの設定理由>

園舎で寝転んでいる時に、空の色や雲の形や流れなど、毎日違うことが気になった子どもたちの関心を深めるため。星や空に興味を持ってもらう為に自分の生まれ月の星座を知ったり、季節限定で見える星座を学んだ。星に興味を持ったところで自分なりの星座を作り一人用プラネタリウムから最終的にはみんなで見れる大きなプラネタリウムを作り星を楽しんだ。

2. 活動スケジュール

令和6年7月

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

【環境をデザインする】

図鑑、段ボール、黒画用紙、その他、プラネタリウムを作るための材料、懐中電灯など

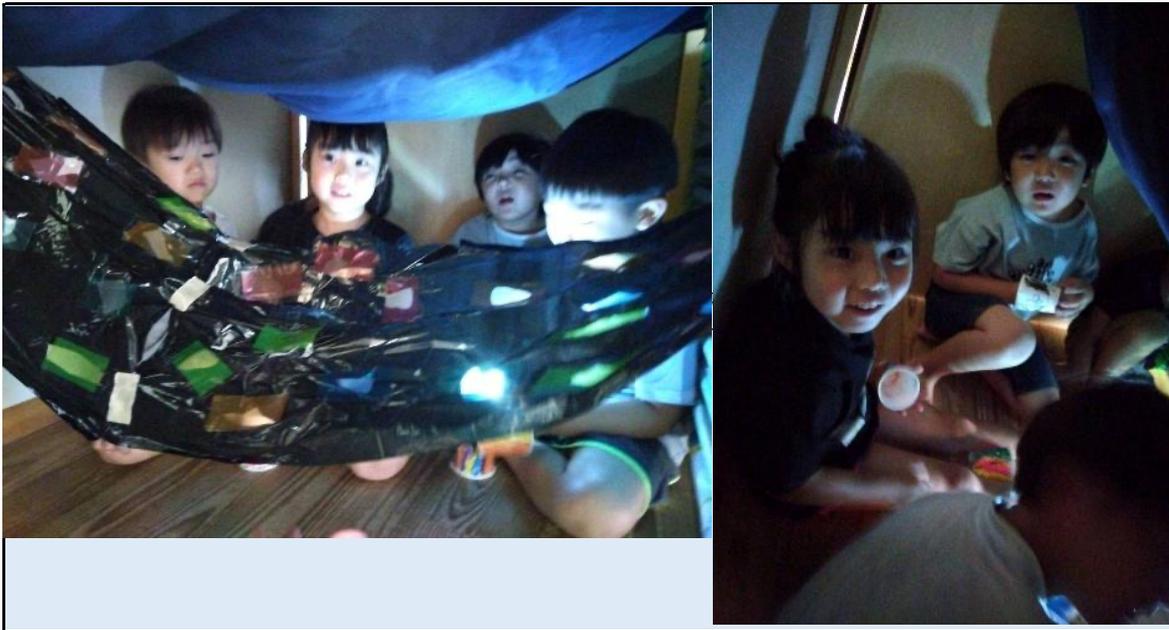
4. 探究活動の実践

<活動の内容>

自分の星座を図鑑や本で調べ星座の形や名前を知り星座の塗り絵をする。絵具とストローを使って吹き絵を行い自分なりの星空を作る。紙コップと針を使って好きな形に穴をあけ好きな星座を作る。コップの下に電気を入れ暗いところで壁に穴から光が移るようにし自分だけのプラネタリウムを作って楽しむ。黒のビニール袋に穴をあけカラーセロファンを貼ったり、みんなで見れるプラネタリウムの作り方を考え、材料ややり方話し合いをしながらいろいろ試し準備を行う。物干しやブルーシートなどを使ってみんなが寝転がって見れるような空間作りを行い自分たちで作った紙コップのプラネタリウムや黒のビニールに穴を開けた物を下から照らし壁に写しどれくらい暗くしたらもっと見やすいか照らし方などの工夫を自分たちで考え行いよく見えるようになって完成した個室にみんなで寝転がりひとりひとりの作った星を見せ合ったり、星の投影機を使いプラネタリウムを楽しんだ。実際の星も暗ければ暗いほど見やすいことを学んだ。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

誕生表を張り出したことで、子どもたちは、「星座」ということを知り、夜空に見える星を見ては、自分の星座を探そうとしていた。実際には見ることが出来ないため、見るにはどうしたら良いか？と一緒に考え、プラネタリウムを作ることになった。保育士は、どうしたら良いかな？という声かけをどんどん与えることで、自分たちで本で見たり、探したり、考えたりと自分たちで最初から最後まで行うことで、発見が生まれた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

子どもたちが自分たちでプラネタリウム作りという目標を持って最後までやり遂げることで、達成感を持つことが出来たこと、おともだちと一緒に考えながら活動を進めることで、仲間意識をもつことが出来た。

- 活動報告書を作成して園のホームページ
- 活動報告書は任意の様式で作成していた
下記の内容を盛り込んでください。
 - ・活動のテーマ
 - ・テーマの設定理由
 - ・活動スケジュール
 - ・活動のために準備した素材や道具、環境
 - ・活動の内容
 - ・活動中の子供の姿・声、子供同士や保育
 - ・活動の様子が分かる写真（2枚以上）
 - ・振り返りによって得た先生の気づき





2等で公表してください。
:だいても構いませんが、

筆の設定

署名との関わり